

活動プログラム アドベンチャーハイク

何を学ぶか

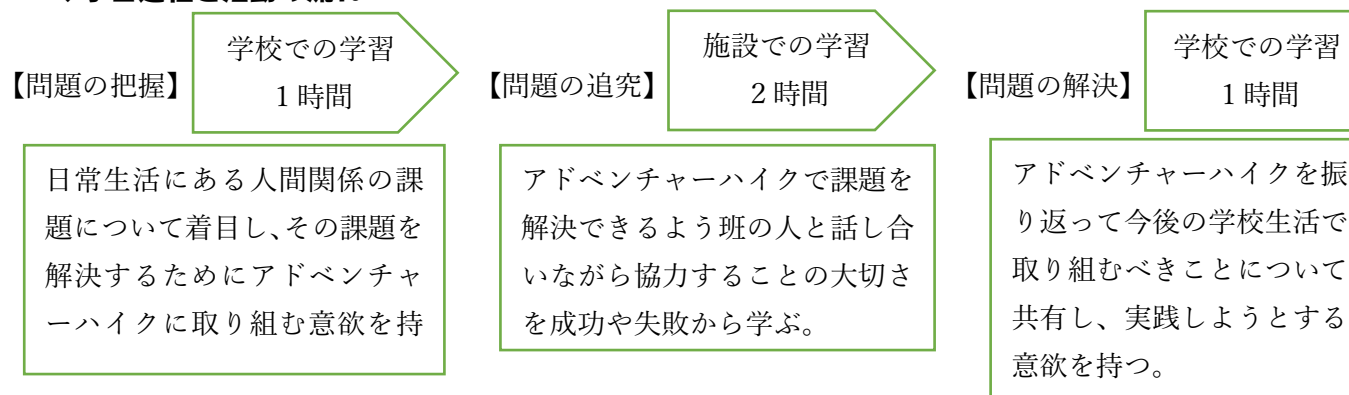
どのように
に学ぶか

何ができるよ
うになるか

◇特別活動 学級活動（２）

【単元の目標】 互いの違いやよさを認め合いクラスとしてより良い人間関係をつくる。

◇学習過程と活動の流れ



◇育成する資質・能力

【知識および技能】

目標を達成するために話し合い集団としての合意形成を図るための知識および技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】

友達と課題解決をするために自己の考えを伝えるとともに相手の考えを受け入れ互いに折り合いをつけるための力を身に付ける。

【学びに向かう力・人間性等】

互いの違いやよさを認め合いより良い人間関係を作り、さらに高めていこうとする。

活動プログラム カレーづくり①

◇5年 総合的な学習の時間 「国民食となったカレーの秘密を調べよう。」

【単元の目標】カレーの素材全てを自ら栽培して料理まで取り組むことを通してカレーの魅力にかかわる課題を追究し、その取り組みをまとめ発信する。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

施設での学習
2時間

カレー作りを通して国民食となったカレーの秘密について調べようとする意欲を持つ。

【問題の追究】

学校での学習
()時間

カレーの素材作り（香辛料の栽培）から始める本格的なカレーづくりを通してカレーの魅力について課題を設定し、その解決を目指した取り組みを進める。

【問題の解決】

学校での学習
()時間

カレーの魅力について追究したことをまとめ、発信する。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識および理解】カレーの素材栽培や調理を追究する知識と技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】課題について調べたことを整理分析したり、まとめたりする。

【学びに向かう力・人間性等】課題解決に向けて主体的・協働的に取り組むこと。

活動プログラム カレーづくり②

◇5年 総合的な学習の時間 「世界と日本の米を使った料理を食べ比べ米料理名人になろう。」

【単元目標】世界と日本の米を使った料理に挑戦し、米の特徴や文化の違いについて体験的に課題を追究し、まとめ発信する。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

施設での学習
2時間

タイ米と日本米を使ったカレーを食べ比べる経験から、世界や日本の米料理について課題を設定し解決しようとする意欲を持つ。

【問題の追究】

学校での学習
() 時間

インディカ米とジャポニカ米の特徴や歴史・料理名などについて課題を設定し解決を目指した取り組みを進める。

【問題の解決】

学校での学習
() 時間

世界の米料理の課題について調べ、その特徴や文化の違いなどをまとめ、発信する。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識および技能】世界と日本の米料理について追究する知識と技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】課題について調べたことを整理分析したり、まとめたりする。

【学びに向かう力・人間性等】課題解決に向けて主体的・協働的に取り組むこと。

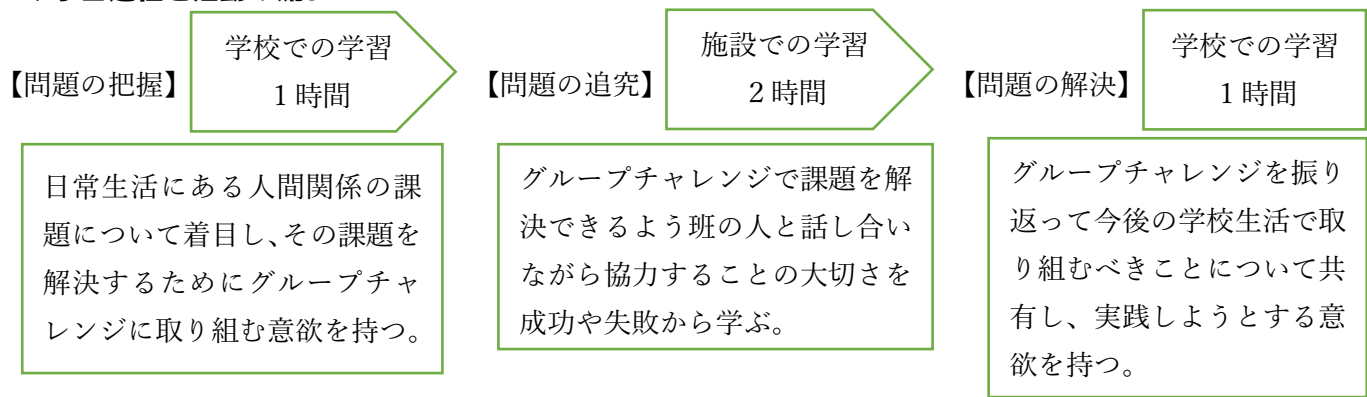
活動プログラム グループチャレンジ

◇特別活動 学級活動（２）

【単元の目標】 互いの違いやよさを認め合いクラスとしてより良い人間関係をつくる。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか



何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識および技能】

目標を達成するために話し合い集団としての合意形成を図るための知識および技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】

友達と課題解決をするために自己の考えを伝えるとともに相手の考えを受け入れ互いに折り合いをつけるための力を身に付ける。

【学びに向かう力・人間性等】

互いの違いやよさを認め合いより良い人間関係を作り、さらに高めていこうとする。

活動プログラム サバイバルチャレンジ①

◇5年 総合的な学習の時間 「災害から身を守るためにできることを考え実践しよう」

【単元目標】 災害から身を守るための課題について追究し、その実践方法についてまとめ、発信する。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

施設での学習
2時間

サバイバルチャレンジを通して防災について課題を設定し解決しようとする意欲を持つ。

【問題の追究】

学校での学習
()時間

災害から身を守るため課題を設定し、その課題を解決する取り組み（防災キャンプを含む）をおこなう。

【問題の解決】

学校での学習
()時間

災害から身を守るためにできることについてまとめ、発信する。

◇育成する資質・能力

何ができるよ
うになるか

【知識および技能】 災害から身を守る方法を追究する知識や技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】 課題解決を目指して調べたことを整理分析したり、まとめ発信したりする。

【学びに向かう力・人間性等】 課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む。

活動プログラム サバイバルチャレンジ②

◇5年 特別活動 学級活動(2) 「防災学習」

【単元の目標】

地震が起きたときの避難の仕方や日常の備えについて考え、災害から身を守る実践力を高める。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

学校での学習
1時間

災害が発生した場合、どのような問題が起こるか知り、どのようにしたら自分の身を守ることができるかという問題意識を持つ。

【問題の追究】

学校での学習
1時間

災害から身を守るため課題を設定し、その課題を解決するために話し合い具体的な実践方法やめあてを決める。

【問題の解決】

施設での学習
2時間

話し合ったことをサバイバルチャレンジとして実践して災害から身を守る力をつける。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】 災害から身を守る方法を追究する知識や技能を身につける。

【思考力・判断力・表現力等】 課題の解決について考えたり、話し合ったりしたことをまとめる。

【学びに向かう力・人間性等】 災害から自分の身を守る方法を実践していく意欲を持つ。

活動プログラム 「つみっこ」づくり

◇5年 総合的な学習の時間 「秩父に伝わる郷土料理・小昼飯（こじゅうはん）の秘密を調べよう」

【単元の目標】

古くから伝わる郷土料理・小昼飯の秘密に関する課題を追究し、まとめ発信する。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

施設での学習
2時間

「つみっこ」づくりを通して秩父地域に伝わる郷土料理「小昼飯」の秘密について調べようとする意欲を持つ。

【問題の追究究】

学校での学習
()時間

「小昼飯」の種類や歴史、文化について課題を設定し、追究する。

【問題の解決】

学校での学習
()時間

小昼飯の種類や歴史等について追究したことをまとめ、発信する。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】小昼飯の秘密を調べようという課題を追究する知識と技能を身につける。

【思考力・判断力・表現力等】課題について追究したことを整理分析したり、まとめたりする。

【学びに向かう力・人間性等】課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む。

活動プログラム ヒノキのクラフト

◇5年 総合的な学習の時間 「西川材の魅力について調べ生活に役立つ作品を作ろう」

【単元の目標】西川材の魅力とは何か追究し、その取り組みをまとめ発信する。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

施設での学習
2時間

ヒノキの箸づくりなどのクラフトに取り組むことを通して西川材の魅力について調べようとする意欲を持つ。

【問題の追及】

学校での学習
()時間

西川材の魅力について課題を設定し、取材や実験、製作などをおして、課題解決を目指した取り組みを進める。

【問題の解決】

学校での学習
()時間

西川材の魅力について調べ分析し、まとめたことを発信する。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】

西川材の魅力を追究するための知識と技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】

課題について調べたことを整理分析したり、まとめ発信したりする。

【学びに向かう力・人間性等】

課題解決に向け主体的・協働的に取り組み学んだことを自己の生き方に生かす。

活動プログラム 火おこし体験・薪での炊事

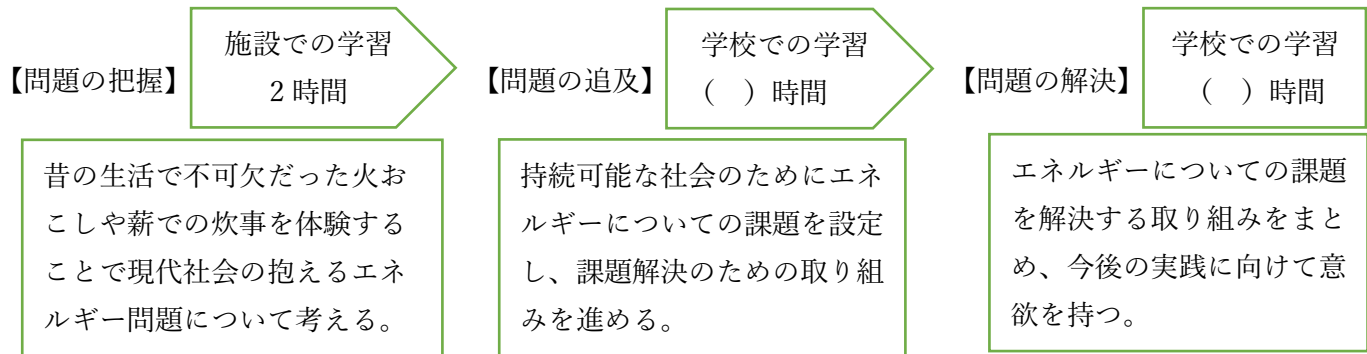
◇5年 総合的な学習の時間 「持続可能な社会実現のためのエネルギーについて」

【単元の目標】

日常生活に不可欠なエネルギーの課題を追究し持続可能な社会実現に向う実践力を高める。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか



何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】

持続可能な社会実現のためのエネルギー問題を追究する知識と技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】

課題について調べたことを整理分析したり、まとめたりしたことを発信する。

【学びに向かう力・人間性等】

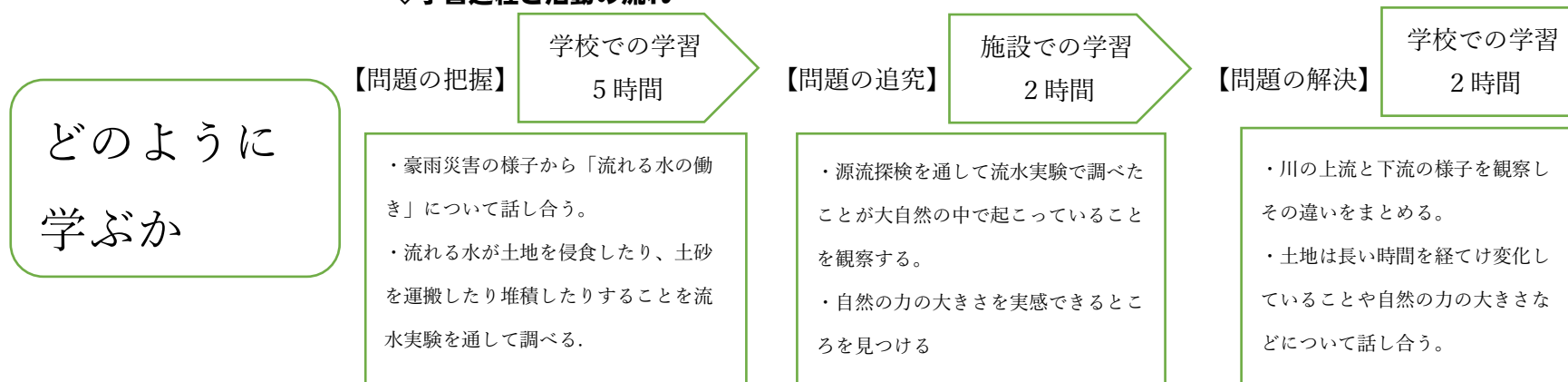
課題解決に向け主体的・協働的に取り組み、学んだことを自己の生き方に生かす。

活動プログラム 源流探検

◇5年 理科 「流れる水の働きと土地の変化」

【単元の目標】 流れる水の速さや量に着目して、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通してそれらについての理解を図り、観察や実験などの技能を身に付けるとともに流水実験や源流での観察の予測や仮説をもとに解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

◇学習過程と活動の流れ



どのように
学ぶか

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識および技能】 流れる水には侵食・運搬・堆積などの働きがあること。川の上流と下流での石の大きさの違いがあること。雨の降り方で流れる水の速さや量が変わり土地の様子を大きく変えることを理解する。

【思考力・判断力・表現力等】 流れる水の働きと土地の変化との関係について解決の発想し、表現する。

【学びに向かう力・人間性等】

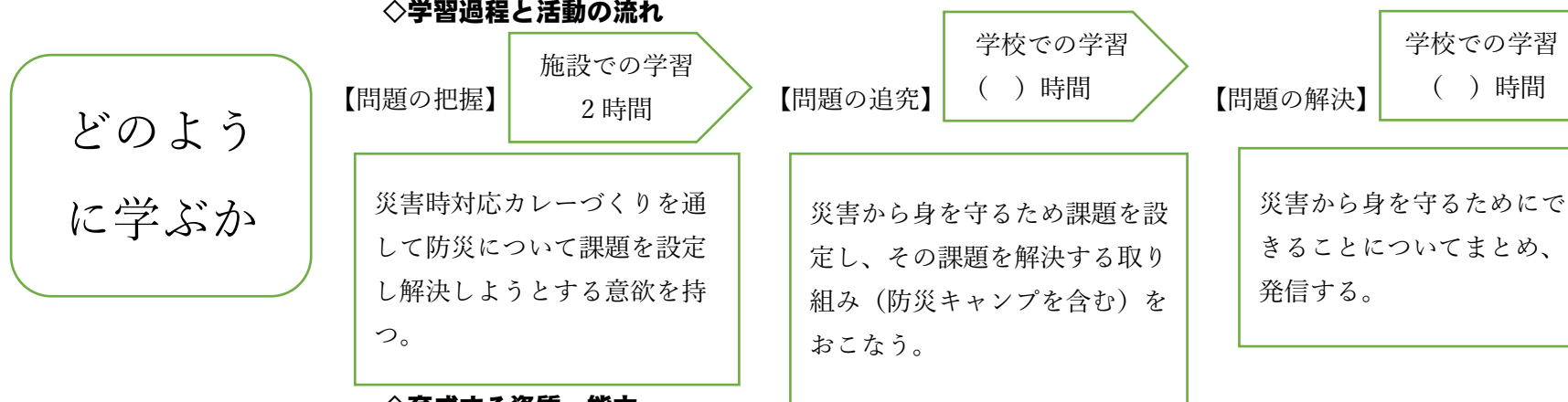
流れる水の働きについて追求する中で、主体的・対話的に課題を解決しようとする。

活動プログラム 災害時対応カレーづくり①

◇5年 総合的な学習の時間 「災害から身を守るためにできることを考え実践しよう」

【単元の目標】 災害から身を守るための課題について追究し、その実践方法についてまとめ、発信する。

◇学習過程と活動の流れ



どのよう
に学ぶか

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識および技能】 災害から身を守る方法を追究する知識や技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】 課題解決を目指して調べたことを整理分析したり、まとめたりすること。

【学びに向かう力・人間性等】 課題解決に向けて主体的・協働的に取り組むこと。

活動プログラム 災害時対応カレーづくり②

◇5年 特別活動 学級活動(2) 「防災学習」

【単元の目標】

地震が起きたときの避難の仕方や日常の備えについて考え、災害から身を守る実践力を高める。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

学校での学習
1時間

災害が発生した場合、どのような問題が起こるか知り、どのようにしたら自分の身を守ることができるかという問題意識を持つ。

【問題の追究】

学校での学習
1時間

災害から身を守るため課題を設定し、その課題を解決するために話し合い具体的な実践方法やめあてを決める。

【問題の解決】

施設での学習
2時間

学校で取り組んだ防災学習の発展として災害時対応カレーづくりを体験し、実践力を高める。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】 災害から身を守る方法を追究する知識や技能を身につける。

【思考力・判断力・表現力等】 課題の解決について考えたり、話し合ったりしたことをまとめる。

【学びに向かう力・人間性等】 災害から自分の身を守る方法を実践していく意欲を持つ。

活動プログラム 手打ちうどんづくり

◇5年 総合的な学習の時間 「伝統的な武州飯能うどんの秘密について追究しよう。」

【単元の目標】

古くから伝わる武州飯能うどんの秘密にかかわる課題を追求し、その取り組みをまとめ発信する。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

施設での学習
2時間

うどんづくり体験を通して武州飯能うどんの歴史や文化について調べようとする意欲を持つ。

【問題の追究】

学校での学習
() 時間

武州飯能うどんの歴史や文化について課題を設定し地域を調査したり、外部講師から学んだりして課題解決に取り組む

【問題の解決】

学校での学習
() 時間

武州飯能うどんの秘密について追究したことをまとめ、発信する。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】 武州飯能うどんの秘密について追究する知識と技能を身につける。

【思考力・判断力・表現力等】 課題について追究したことを整理分析したり、まとめたりする。

【学びに向かう力・人間性等】 課題解決に向け主体的・協働的に取り組む。

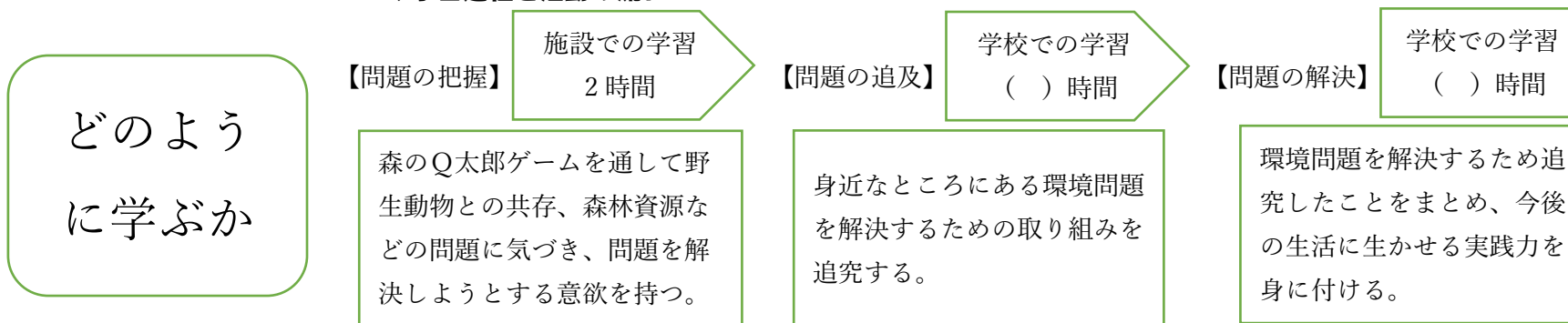
活動プログラム 森のQ太郎ゲーム

◇5年 「総合的な学習の時間」 身の回りの環境問題について考えよう

【単元の目標】

身の回りにある環境問題を解決するため課題を追究し、よりよい環境づくりを推進する実践力を身に付ける。

◇学習過程と活動の流れ



どのよう
に学ぶか

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】

身近な環境問題の解決方法を追究する知識と技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】

課題について調べたことを整理分析したり、まとめたりする。

【学びに向かう力・人間性等】

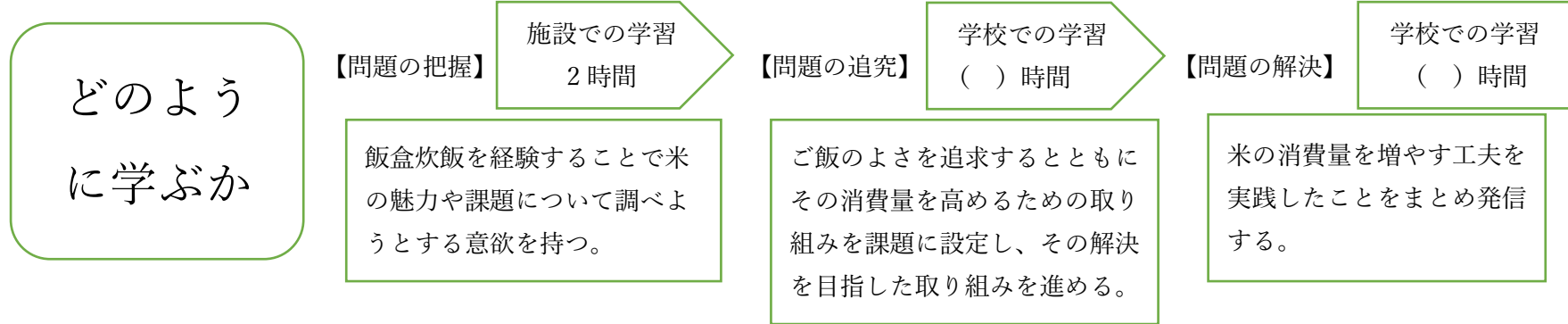
課題解決に向けて主体的・協働的に取り組み、学んだことを自己の生き方に生かす。

活動プログラム 飯盒炊さん①

◇5年 総合的な学習の時間 「米の良さを知り、消費量を高めることにチャレンジしよう。」

【単元の目標】私たちの主食であるお米のよさを知り、減ってきているお米の消費量を増やすための取り組みを考え広く発信することができる。

◇学習過程と活動の流れ



どのよう
に学ぶか

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識および技能】 米のよさ、およびその消費量を増やす工夫を調べる知識や技能を身に付けること。

【思考力・判断力・表現力等】 課題解決を目指して調べ整理分析したりまとめたりすること。

【学びに向かう力・人間性等】 課題解決に向けて主体的・協働的に取り組むこと。

活動プログラム 飯盒炊さん②

◇5年 家庭科 「伝統的な日常食 ご飯とみそしるを作ろう」

【単元の目標】

ご飯とみそ汁の調理の基本的な知識・技能を身に付けるとともに、伝統的な日常食の献立を考えることができる。

◇学習過程と活動の流れ

どのよう
に学ぶか

【問題の把握】

学校での学習
2時間

ご飯の炊き方の基本について学習する。

【問題の追究】

施設での学習
2時間

- ・ポイント（吸水・火加減等）を押さえた炊飯を行う。
- ・ご飯とみそ汁のよさについて追究する課題を決める。

【問題の解決】

学校での学習
14時間

ご飯とみそ汁のよさを活かした献立を発表し合い、課題についてまとめる。

何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識および技能】

ご飯とみそ汁づくりの基本的な知識・技能を身に付けることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

ご飯とみそ汁を中心とした献立を考え、その栄養バランスや文化としての大切さに気づく。

【学びに向かう力・人間性等】

ご飯とみそ汁について追究する中で主体的・協働的に課題を解決しようとする。

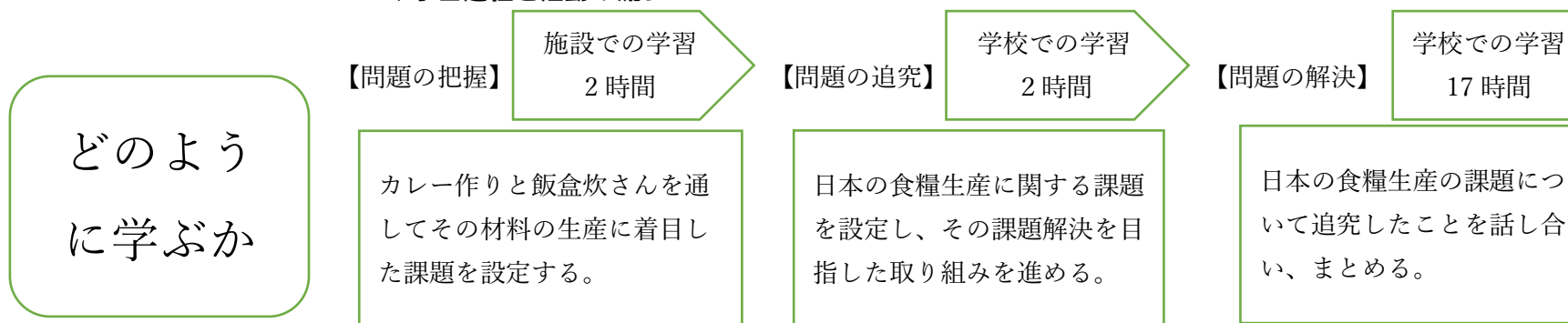
活動プログラム 飯盒炊さん③

◇5年 社会科 「わたしたちの生活と食料生産」

【単元の目標】

食料生産が食生活を支えていること、また、その裏には様々な努力や工夫があることを理解する。

◇学習過程と活動の流れ



何ができるよ
うになるか

◇育成する資質・能力

【知識・技能】・様々な食糧生産が食生活を支えてるとともに、輸入にも頼っていることを理解する。

・課題について追究したことを白地図や作品としてまとめることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

・農業や水産業が食生活を支える重要な役割を果たしていること、自然環境との関わりが深いことを考え適切に表現する。

【学びに向かう力・人間性等】

・食料生産について追究する中で主体的・協働的に課題を解決しようとする。